

## 【教育目標】

【知】自ら学び、考え、進んで行動する人

【徳】互いを尊重し、協力する人

【体】心身ともにたくましく健康な人

杉並区立中瀬中学校

下井草4-3-29 TEL 3399-2196

## 令和元年度 生徒会宣言

校長 香西雅斗

科学と自然の散歩みちのサザンカの花が咲きはじめました。ハナミズキの葉の紅葉も深まり、季節は晩秋です。

生徒会本部役員も選挙により新しいメンバーが決まり、後期の専門委員会・中央委員会を経て10月15日(火)に生徒総会が行われました。総会の締めくくりに生徒会長による生徒会宣言を紹介します。

### 『規律ある自由～新たな中瀬へ～』

この生徒総会で「生徒会本部役員会の組織と選挙方法の変更」と「ビオトープ委員会の特別委員会から専門員委員会への変更」の二つの生徒会規約の改正委案が承認されました。また後期の専門委員会の活動方針への質問と回答も、それぞれに明確な理由があり、これからの中瀬中学校を創っていく上で、非常に良い生徒総会になったと思います。

さて、校舎建て替えを数年後に控え、中瀬中学校はこの代から大きく変わっていきます。それに向け、役員会が提案した生徒会の目標は『規律ある自由～新たな中瀬へ～』です。

僕はこの夏、いくつかの高校を見学しました。そこで気が付いたのは、評判の良い学校は、校則が驚くほど少なく、生徒が自主的に規律をもって活動しているということです。その気付きをもとに役員会で「私達も、圧倒的にルールが少なく、私達生徒の意識が高い、そういうレベルの高い中瀬中を目指そう」と話し合ってきたのが、この目標です。

ところで『新たな中瀬』とはどんな中瀬だと皆さんは考えますか。これは生徒会長の僕が決めるものでも、役員会で決めるものではなく、ここにいる生徒みんなで考え創っていくものです。(そのために音楽発表会後に役員会からアンケートを取ります。)

生徒会長の僕も『規律ある自由』を目指し、選挙公約の「靴下やセーターのルール改正」に取り組みます。そして新しい役員と専門員長と力を合わせ、中瀬中を新たな学校へ変えていきたいと思えます。委員会活動、部活動、学年や学校行事への取組、普段の授業や生活で、生徒の皆さんも一緒に『新たな中瀬』を創っていきましょう。

生徒会長 金澤 侑生

70周年記念式典での 小池 美樹 生徒会長の「地域の方に、あって良かった、と思われる中瀬中」、椿 右京 前生徒会長の「自ら考え、自ら学び、自ら行動する中瀬中生」を引き継ぐ、力のこもった宣言でした。

これを受け11月の生徒朝礼では、3年生の学級代表委員長から「3年生が休み時間の度に玄関の冷水器のところに集まっているのはいい事ではない。僕たち学代が率先して声をかけていきます。」という、生徒同士で良い方向を目指しての働きかけが表明されました。

生徒たちは新しい中瀬を作るためのスタートを切りました。令和6年春に完成する新校舎が、ただの器が新しくなるだけでなく、次のステップの新しい中瀬中と地域のシンボルとなるよう、皆様と力を合わせて進んでいきたいと考えています。

# 学校アンケート (平成 30 年度) 自由記述欄より II

## 【7】生徒に関して

生徒については概ね肯定的な意見をいただきました。比較的多かったのは「男女の仲や上級生と下級生の仲が良い(12)、伸び伸びしている、のんびりしている(12)」などお互いに尊重し合い(3)、楽しそう(6) にすごしている、という声と「まじめ・ルールを守る(17)、一生懸命(14)、礼儀正しい・挨拶してくれる(12)」など素直(6)で、落ち着いている(3) という声でした。



＜ビブリオカフェ～大草原の小さな家＞

挨拶については「生徒が明るく積極的に挨拶ができるようになれば良いと思います。(1年)」「学校内でも大きな声で挨拶してくれる生徒がもっと増えると、保護者はうれしいです。(2年)」という声、マナーについては「登下校時に、道路に広がって歩かない、通学に不適切な私道は通らないようにすると安全や防犯にもつながります」という指摘もいただきました。

生徒たちの主体性や自主性についてもたくさんの声が寄せられました。

|   |                               |                           |                                     |  |   |  |   |   |
|---|-------------------------------|---------------------------|-------------------------------------|--|---|--|---|---|
| <p>いろいろな行事を見ていても活気が出てきたと思います。学校をより良いものへ変えていこうという気持ちを持った生徒達も多く、今後は楽しみます。(三年)</p> | <p>生徒達が自主的に考えて行動しています(三年)</p> | <p>生徒の自主性を大切にしている(二年)</p> | <p>生徒達で考え、アイデアをだし、行動していると思う(一年)</p> | <p>いろいろな行事があり、多くの生徒が積極的に関わっている姿が見えます。生徒を厳しくしぱりつけているわけではなく、生徒の意見を尊重しながら物事を進めている(一年)</p> | <p>勉強以外にも、目標を持って取り組める体制は、わが子にとってはとても合っており、恵まれていると感じる。</p> | <p>少し前に比べ、活気を感じるし、発信していると感じる。生徒たちのやる気が感じられる。</p> | <p>一つ一つ丁寧に(授業や体育祭、音楽発表会、一年生の小千谷との交流など独自の取り組みも、子どもの事も考え、子どもも主体的な考えを持って向き合っていると感じる。</p> | <p>いろいろ書きましたが中瀬中の細やかな教育、生徒達が積極的に活動できる環境など、入学式に抱いていた像よりずっとよく満足しています。(一年)</p> |
|---|-------------------------------|---------------------------|-------------------------------------|--|---|--|---|---|

今より良い世界～具体的には SDGs (2030 年までに達成すべき 17 の目標) など～を創り支える、そんな人を育てるのは、教員を含む我々大人の責務です。

大人の限界を子供たちの限界にしてはならない、だからこそ子供たちの主体性・自主性を尊重し、自主的に規律をもって活動し(生徒会宣言)、責任をもって『自己決定』できる資質を育てていきます。

## 【8】いじめ・トラブルに関して

|                           |                          |                                  |                                 |                        |                                 |   |                    |
|---------------------------|--------------------------|----------------------------------|---------------------------------|------------------------|---------------------------------|---|--------------------|
| <p>いじめを耳にしていない。(二年二名)</p> | <p>いじめがないところが良い。(一年)</p> | <p>いじめ等の問題に素早く対応していると思う。(一年)</p> | <p>いじめが少なく息子の話から聞くと“ない”(二年)</p> | <p>いじめが少ない気がする(三年)</p> | <p>いじめなどの話を聞いたことがありません。(三年)</p> | <p>あまりいじめの問題を聞きませんし、子どもの話からも、3年間共にクラス</p> | <p>の仲が良かった(三年)</p> |
|---------------------------|--------------------------|----------------------------------|---------------------------------|------------------------|---------------------------------|---|--------------------|

いじめなどのトラブルに関しては、左の様な声が寄せられました。一方「先生方はいじめがある事を知っていますか? 子どもが親に心配かけたくないとそのこと言えないのを知っていますか?部活動内でもいじめがあります。(1年)」という指摘もありました。

人が集まれば、意見の違いや思い違いが起こりやすく、それが人間関係のトラブルを生み、いじめにつながることも十分起こり得ます。

学年が進むとともにトラブルは減っては来ますが、教員だけで生徒の状況を完全に知ることは難しく、年三回のいじめ調査で全てが把握できるわけではありません。

周囲の生徒や保護者の方から相談していただきやすいよう“オープンで親しみやすい”姿勢と、“素早い対応”を心がけていきます

## 【9】不登校に関して

「全員そろって」という思いはもちろんですが、休みがちになるきっかけは様々です。

体調不良の場合は無理がなかなかききません。勉強や運動が苦手で気持ちが萎えている場合は、少しずつ挑戦していけるよう、休息をとりリラックスすることが必要です。そのため中瀬中では学習支援室などを利用し、手あきの教員と相談したり、学習支援教員と学習を進めていけるようにしています。

休みがちな生徒でも、学校行事への参加を希望する生徒は、中瀬中では結構多いです。1年生と3年生でスムーズに登校できていない生徒は、学年1~2名ですが、例えば3年生は、スキー教室も修学旅行も全員参加でした。2年生は1・3年生より多く、平均するとクラスに2名前後ですが、その半分の生徒が鎌倉校外学習に参加しました。

行事がきっかけで登校を再開したケースもあります。これも、生徒の人間関係がきっかけになっていることが、中瀬中では比較的少ないからかもしれません。

中瀬中では担任や学年の教員では及ばないところをカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどと連携し、多くのケースで本人とつながりを作っています。区のさざんか教室などを含め、家族以外の人と過ごす時間や、相談し助けてもらえる大人と関わることは、とても大切だと考えています。

登校に課題を感じながら転校して来る生徒もいますが、中瀬中に来るとみんな元気に登校しています。また、さざんか教室にプラスして、週に一回教室で授業に参加し始めた生徒もいます。重要なのは生徒の「学校に行ってもいいかな」という思いをキャッチし支えていくことだと考えています。

## 【10】部活動に関して

「部活動が盛んで充実している。(11名)」「部活等を通じて上級生たちから学ぶことがある。(1年)」「先輩も優しく楽しい日々(1年)」「吹奏楽部など勉強以外で長期にわたる伝統がある(2年)」「顧問の先生も熱心に指導して下さる(3年)」など強さや結果だけでなく、多くの面から肯定的な評価をいただきました。一方、下記のような意見もいただきました。



＜茶道体験(2年)＞

部活動が少なく感じます。スポーツ系の部活動が増えると嬉しい。(1年)」「運動が苦手な生徒でもできる、禊部があるとうれしい(1年)」

↓  
校庭・体育館は運動部により最大限活用されています。室内の運動で利用できる教室もなく、部の数の増加は難しいのが現状です。また水泳部については、中学の部活は教員がいつも完全について活動できるとは限らないので、校内での練習は難しいです。

↓  
活動を週三日に、心身の休養のため、土日を必ず休みにしてほしい(1年)」「部活中心になり他の予定が立てづらい(2年)」

↓  
部の活動内容や目標により日数も平日一日〜四日と幅があります。杉並区では平均で週に5日以内の活動がガイドラインとして示されています。

↓  
部活の顧問の生徒に対するパワハラ暴言を学校は放置している。(2年)」

↓  
生徒対象の体罰・不適切な指導等の調査(部活に限らず)は、管理職が全部に目を通し、書いてくれた生徒と関係生徒に直接事情と、どうしてほしいかを聞き、管理職が直接指導していただきます。心配なことがあった時は、学年あるいは管理職に直接相談ください。

部活動の位置づけについての質問もありました。「部活動は、学校教育の一環として、生徒の自主的、自発的な参加によって行われる、教育課程外の活動(学習指導要領より)」です。ですから、部活動中の怪我が、スポーツ振興センターの災害給付の対象になるわけです。

また週休日の体育館使用についてバスケ部が優先されているのではという声もありましたが、前月の半ばに希望を記入し調整しています。ただバスケ部顧問は(今年度はバド部顧問も)杉並区の専門委員で、大会運営にあたり試合に使う体育館の確保が重要な役割になっています。その点で優先順位は高く、他の部活は、休みにするか他校に出て練習するなどの工夫をして協力しています。



### 【11】志望校選びについて

また、中瀬中学校の評判がよくなってきたのに、そのような先生の言動で評判が下がるのは残念です。(1年)

中三において、もう少し高校受験におけるアドバイスを、具体的な学校名を教えてください。(3年)

志望校選びについて、具体的な学校名などの助言がいたらないのは残念です。(3年)



<7月のPTA主催高校説明会>

志望校は、ご家庭で相談の上、最終的に本人が決めます。教員は、持っている情報を元に、それに対するアドバイスをするのが、どの学校でも基本的な姿勢です。担任によっては経験が浅かったり、この地域になじみが薄かったりします。学年には必ず、この地域で何回も卒業生を送り出している教員がいるので、担任だけでなく学年のベテラン教員にも声をかけてください。

なお具体的な学校名については、教員は慎重になりますが「今の成績と得点力だと、卒業生はどんな進路に進んでいますか？ どのような学校を受験していますか？」という質問には答えやすいです。

最後に10月に行われたPTA役員と学校運営協議会(CS)の懇談会で「志望校を決めていくのには進路説明会は早い方が良い」という意見がでました。これを受け来年度はこれまで7月に行っていた第一回進路説明会(三年の生徒・保護者合同、一二年保護者も参加可)を4月に行うことを考えています。またPTAに協力いただき、進路に関する勉強会も早めに行えればと思います。

### 【12】行事について

中瀬中の良い所として「音楽発表会を中心とする音楽の中瀬(24名)」を含め「生徒・教員が一生懸命、楽しそうに行事に取り組んでいる(67名)」が上がっていました。

一方「行事が多い。熟考したりできるようなゆとりのある期間も必要なのでは(2年)」という声もありました。「夏休みの宿題が非常に多いことがとても残念。(1年)」「宿題の多さが自主学習や苦手な部分へのテスト勉強の妨げになっている。(3年)」という指摘と合わせ課題とします。



<3年生学年合唱 大地讃頌>

### 【13】学校公開について

「学校公開が多い(1・2年)」「中瀬フェスタや学校公開の時、校内に入りやすい(1年)」という声の一方「公開に行きたいが保護者が少ないので行きにくい(1年)」「教室のドアが閉まっていて、入るのに躊躇した(2年)」などの声がありました。また「先生に任せっぱなしはいけないと思う。保護者が行事に参加、参観に来て、それについていろいろ語るなど、相互のコミュニケーションがいろいろな形で実現できると良い」という意見もいただきました。

今年度は「積極的に保護者参観ができるように精選しては(3年)」という意見を受け、公開週間をやめ、保護者会のある日、土曜授業を公開日としました。いかがでしょうか。

### 【14】その他

この他、中瀬中の良い所として「保護者が仲が良く、地域・PTAが学校・子どもを支えている(20名)」「ボランティアに積極的(6名)」「銘文や言葉に親しみ、覚えることで生徒の自信につながる中瀬校定があり、生徒の様子が見られる(4名)」の他「ビオトープがある」「国際交流がある」「エンカウンターがある」「給食が美味しい」「校庭が広くトイレがきれい(各2名)」などの意見がありました。

なお、紙面の関係で「学校の方向性」に関わる意見は後日紹介します。